

まちぢから協議会会議報告書

部会名	環境安全部会	会議名	第7回会議		
日付	9月16日(金)	場所	鶴嶺東コミセンC会議室	記入者	原田 京子

<主な内容>

1. 通学路調査報告書について

通学路実態調査報告書(案)を部会として承認し、協議会会長へ提出することが了承された。

今後、まちぢから協議会の報告書として、警察署や行政に要望する際の資料として活用するとともに、この報告書をもとに改善策を検討する。

- 例えば、信号機の調整、歩車分離など、警察署や行政と連携した社会実験、スクールゾーンの路面標示は渋滞時見えないので表示の工夫などを提案する。
- 鶴嶺小学校下校の見守りは、広範囲にできていない現況・課題があることへの対応

2. ごみに関する行政との意見交換について

ごみに関する行政との意見交換会質問票と回答(別紙資料参照)をもとに意見交換を行った。特記的な事項の主な内容は次のとおり。

- ① ルール違反(不適正排出)廃棄物の処理は、地域住民の方々に頼っている現状であるが、内容物を調べて排出者を特定することはしないで、市に対応を相談してほしい。
不適正排出者の啓発のため、2週間の残置はさせていただきたい。
- ② 非自治会員の方には資料が渡されていないので全市民に配布するようにしてほしい。
⇒ 転入者には、市民課で「市民便利手帳」で知らせている。
- ③ 監視カメラは、10台用意されている。ダミーカメラは各自治会に1台用意されている。
掲示用啓発看板のサンプルは課題毎に環境事業センターに用意しているので活用してほしい。
- ④ 資源ごみを8時に回収してしまうので、市の委託業者への指導をお願いしたい。
- ⑤ 資源ごみ排出ルールが分かりにくい、対象物の資源化ができていないのは、取引業者の処理能力などの課題があるようだが、取引業者の選定を工夫したり、シンプルで分かりやすい常識的な分別ルールを考えたりしてほしい。プラごみの汚れ除去の基準として、具体化の例示がほしい。
- ⑥ 素材、形状により回収できない物(処理困難物)は、販売店に相談してほしい。(漬物石)
- ⑦ 高齢者等の戸別収集である安心まごころ収集事業の取扱い件数は、横ばい状態である。
- ⑧ 今年度より、市内一部地域で民間委託化によるごみの収集が行われているが、今後、実績・結果・評価を出していく。
- ⑨ 実験的な取り組みは、鶴嶺東地区でも協力するので提案してほしい。
- ⑩ ごみ有料化に伴うデータの分析のほか、ごみに関する情報はホームページやごみ通信への掲載などによりしっかり発信してほしい。
- ⑪ 戸別収集については、4月は見送りだったが集積場所の問題等もあり経費、ごみの減少をみて検討を進めていく方向である。

<出席者8名：富田(環境事業センター所長)・原田(資源環境課)・水谷・小島(環境事業センター地区担当者)・高橋・中村・伊藤・赤羽根・原田(環境安全部会)>

<添付資料：①通学路調査報告書 ②ごみに関する行政との意見交換会質問票への回答>

<次回の予定・内容>

10月14日（金）14時

- ごみに関する課題について
- 通学路の改善策の検討について